

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
海野地区

平成29年1月

長野県東御市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	住民の満足	ポイント	1	1.25	1.49	確定 ●	○	あり	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	海野バイパスや西海野歩道、排水路等の整備が進められ、海野地域の生活環境が向上したことにより、住民満足度に増加が見られた。
指標2	観光客数	人/年	232,400	232,400	208,400	確定 ●	×	あり ●	246,100	H28年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	海野宿への来訪や回遊を促す施設・仕組みを整備したこと、また、うんのわなどのオープン、海野宿ひな祭りの開催、NHK大河ドラマ真田丸によって海野宿への注目が高まったことで観光客数が増加した。
指標3	車両通行量	台/12h	2,135	500	2,075	確定 ●	△	あり ●	678	H28年8月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	海野バイパスの整備により、海野宿内の車両通行量が減少した。しかし、観光客数の増加に伴い、海野宿内への高齢者の送迎などの車の乗り入れによって車両通行量が増加したと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	観光施設整備に対する不満足度	%	53	/	19	確定 ●	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駐車場や看板の整備、パンフレットの制作等を通じて、海野宿への来訪者の受入体制が強化されたことにより、観光施設整備に対する不満足度が減少した。
その他の数値指標2	/	/	/	/	/	確定 ●	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/
その他の数値指標3	/	/	/	/	/	確定 ●	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるために 行う方策 	住民参加の推進	<ul style="list-style-type: none"> 観光事業や文化財の保存および活用に関する学習機会を設けることで、地域の歴史的な行事の維持に向けた人材育成が推進できた。 文化財の周辺環境の保全や防災に対して、文化財所有者のほか、地域住民および行政の意識が高められた。 市、市観光協会、地域住民など協働による持続的な活動が進められた。 観光ガイド養成講座により、知識の統一化やガイド間の情報共有ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も海野宿の歴史や風習を継承していくため、継続的なイベントの開催や人材育成の支援を行う必要がある。 観光ガイドの内容を充実させるため、観光客とのコミュニケーションの充実を図る必要がある。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	海野宿の回遊機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域の観光案内や海野地域の歴史案内の看板を設置することで、「わかりやすく・迷わない」観光づくりができた。 市内全域の観光地の回遊性を高める取り組みにつながった。 地域住民、観光客への情報提供が可能となった。 平成28年10月1日に案内所スペース「せせらぎ」がオープンした。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、更なる地区の情報の更新・充実や、安全性、見つけやすさ等に配慮し、外国人旅行者も安心安全に観光できるように、サインを多言語表記にするなど情報の充実を図る必要がある。 東御市のほか上田市や小諸市など周辺の観光スポット間を回遊できる仕組みをつくる必要がある。 案内所スペース「せせらぎ」を拠点とし、観光客の要望に応えるような適切な案内を行う必要がある。 排水機能を維持するため、住民等が落葉の季節など、排水溝の清掃を行う必要がある必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項